

肉牛農家間の情報交換による地域連携強化

1 対象

肉牛農家 7 経営体

2 背景

尾張地域では、近年、4 戸が和牛繁殖経営を開始したが、地域の和牛繁殖農家は点在しており、組織活動はほとんど行われていない。

このため営農に必要な情報が不足することがある。そこで、情報交換会を開催し、肉牛農家間の結び付けを高め、地域の和牛繁殖基盤の強化と技術力の向上を図った。

3 活動の内容

肉牛農家 7 経営体の意向を踏まえ、情報交換会を初めて企画・開催した。

対象とした肉牛農家だけでなく、和牛繁殖部門を開始した酪農家 1 経営体、海部地域の肉牛農家 1 経営体が参加した。

畜産総合センターから第 12 回全国和牛能力共進会について、愛知県和牛改良協会から和牛登録・登記について、愛知県経済農業協同組合連合会からあいち家畜市場の市況について情報提供があった。

農業改良普及課からは、令和 3 年度の広域調査研究の結果に基づき和牛子牛の飼養管理や、他の農家の飼養管理について説明し、農家間の情報交換が促進されるよう司会・進行した。

4 活動の成果

参加農家は、農業改良普及課が説明した子牛の飼養管理について高い関心を示した。冒頭に自己紹介の時間を設けたことで、情報交換会は和気藹々と進み、農家間の結び付きが高まった。

参加者から「継続して欲しい」、「他の農家の飼養管理についてもっと聞きたい」などの意見があった。

来年度以降も情報交換会を継続し、肉牛農家間の連携を強化していく。



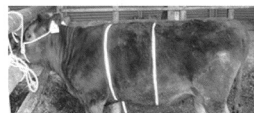
情報交換会の様子

黒毛和種子牛の管理について
～子牛のミルクは 6 L/日以上を目標にしよう～

令和 4 年 11 月 24 日（木）
尾張農林水産事務所農業改良普及課

1 愛知県の調査結果

- 令和 3 年度に、黒毛和種子牛を捕獲・保定し、推定尺で胸圍（肩後第 8 肋骨の基部を通過する帯径部における周囲の長さ）を測定した。
- 調査対象は、人工哺乳 7 戸、ロボット哺乳 3 戸、母子同居（黒毛和種）4 戸、母子同居（交雑種）1 戸の計 15 戸。
- 60 日齢の胸圍は、雄で 100cm、雌で 95cm であれば、順調な生育と言えるのではないかと。
- 4 か月齢までに腹胸比 1.2（腹胸比＝腹圍÷胸圍）に達した子牛は初期発育に優れる。（2013 年 愛知県農業総合試験場）



農業改良普及課説明資料